



PRESS RELEASE

報道関係各位

令和元年10月1日

国立大学法人岡山大学

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所

岡山大学と国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所が 包括的連携協力協定を締結

国立大学法人岡山大学（学長：楨野 博史、岡山県岡山市北区、以下「岡山大学」）と国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所（理事長：米田 悦啓、大阪府茨木市、以下「医薬基盤・健康・栄養研究所」）は10月1日、包括的連携協定を締結しました。

本協定は、両機関の研究・教育における連携協力を推進し、我が国発の革新的な医療技術の創出及び人材育成に寄与することを目的としており、岡山大学と医薬基盤・健康・栄養研究所は本協定に基づき、医療・創薬・ライフサイエンス分野を中心に連携・協力を進めていきます。

異分野融合を特長とする岡山大学と、メディカルからヘルスサイエンスまでの幅広い研究を特長とする医薬基盤・健康・栄養研究所が協力し、次世代ライフサイエンスの提案と実現を目指した研究を行うとともに、それぞれが有する資源の相互利用と密接な人的交流を図ることにより、学術研究の振興と研究成果の社会活用の推進に貢献することを目指します。

<協定に至った経緯>

岡山大学は、特色である異分野融合の取り組みなどを推し進めながら、世界的な学術研究成果を挙げており、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所は、日本発の革新的な医薬品等の開発に貢献することを目的に活動を展開しております。このたび、アカデミア発の医薬品開発をより加速させるとともに、さらなる学術研究の振興と研究成果の社会活用の推進を目指し、包括的な連携・協力に関する協定の締結に至りました。

<連携・協力に関する協定について>

目的： 双方の有する研究施設、研究成果、人材等を活かし、連携協力することによって、相互の研究開発能力及び人材育成の更なる充実を目指し、我が国の学術及び革新的な医療技術の創出並びに人材育成に寄与するとともに、世界の人々の健康と福祉の向上に貢献する。

範囲： 研究者等の研究交流を含む相互交流を核とし、人材育成の推進及び相互支援、双方が有する研究施設・設備の共同利用等の実施、共同研究、受託研究等の実施など、医療・創薬・ライフサイエンス分野を中心に連携・協力をする。

期間： 令和3年3月31日まで（その後は1年ごとの更新）

<医薬基盤・健康・栄養研究所 概要>

平成27年4月1日に医薬基盤研究所と国立健康・栄養研究所が統合し、医薬基盤・健康・栄養研究所として設立されました。本研究所は、我が国における科学技術の水準の向上を通じた国民経済の健全な発展その他の公益に資するため、研究開発の最大限の成果を確保することを目的とした国立研究開発法人として位置づけられています。

<お問い合わせ>

岡山大学研究推進機構 嵯峨山 和美

（電話番号）086-251-8960 （FAX番号）086-251-8961

医薬基盤・健康・栄養研究所 戦略企画部戦略企画課 畔上 大輔

（電話番号）072-641-9832 （FAX番号）072-641-9821

